

令和6年度 第2回 宇美町地域公共交通会議議事概要

①開催日時：令和6年12月20日（金）14：00～14：40

②開催場所：宇美町役場2階大会議室左

③出席者：（順不同・敬称略）

[委員]

原田（会長）、池田（西日本鉄道㈱）、山本（㈱木村タクシー）、中尾（合屋タクシー㈱）、鶴川（小学校区コミュニティ運営協議会）、江口（自治会長会）、小河（民生委員・児童委員）、黒川（町議会議員）、和田（県土整備事務所）、佐田（粕屋警察署）、大井（大分大学・オンライン）

[代理出席]

辻（九州運輸局福岡運輸支局・古賀代理）、石川（福岡県交通政策課・三重野代理）

[オブザーバー]

藤木（宇美町都市整備課）

[事務局]

シティプロモーション課 瓦田、浦本、田原、大楠

1 開会挨拶

（会長）6月以来、本年度第2回目の地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会となる。本日、地域公共交通会議では、のるーと宇美の運行及び西鉄バス「宇美～太宰府線」路線継続に関する経過についての2件の報告を、また、後半の地域公共交通活性化協議会では、本会において令和4年度から2ヶ年かけて協議を重ね、令和6年3月に策定した宇美町地域公共交通計画に基づき、本年度の施策事業の実施状況等についてのご報告をさせていただきます。

2 報告事項

①のるーと宇美の運行に関する報告

（事務局）説明

（会長）のるーと宇美の運行について、月別利用者数の推移、時間別利用者数、運行効率向上に向けた新たな取組及び10月18日に発生したシステム障害についての報告を行った。

これについて、ご意見、ご質問がある方はどうぞ。

(辻) 利用者の推移等から利用者数が上昇しているという印象。予約方法の割合はどうか。あわせて、乗合率はどの程度か。予約が取りづらい時間帯について、利用者からはどのような声が上がっているか。

(事務局) 1点目の質問について。予約方法は、全体では、LINE 46%、アプリ 28%で合わせると7割以上となっている。電話予約は26%。これが60代以上の利用者になるとLINE 44%、アプリ 11%。全体と比較すると割合は下がるが、それでも半分以上の55%がスマホからの予約を行っている。電話予約は45%。

2点目の質問について。乗合率は、算定条件として、車両が実際に動いているシフト時間のうち33%が、複数人で乗り合っているという数値を確認している。また、参考までに、シフト時間中に1人以上乗客を乗せて動いている稼働率は56%と確認している。

3点目の質問について。予約が取りづらい時間帯としては、運行開始直後の8時半頃の時間帯は、予約が集中する。のる一と宇美導入当初は、利用者から、待ち時間の長さについてのご意見が多く聞かれた。最近では、乗り方等にも慣れられて、7日前から予約される方も多くなり、そうしたご意見はあまり聞かなくなっている。

(辻) 他の自治体のオンデマンドバスでは、予約の9割が電話であったり、乗合率も20%しかない、ということも聞かれるので、大変興味深く参考となる事例。

(鶴 川) 私は、のる一との予約をLINEでする。乗車時間が近づくとお知らせ通知がある。それが、乗車後の翌日などに遅れて再度来ることがある。そういうケースを把握しているか。

(事務局) 乗車完了後、翌日に通知が来るというケースは把握しておらず、今初めて伺うケース。通信の不具合等で、本来は乗車前に受信すべき通知が遅れて届いていないだろうか。今度、そういうケースが発生したら個別に教えていただきたい。

(藤 木) 1日当たりの平均利用者数の目標値を150人としているが、141人が利用した日の1時間あたりの利用者数を見ると、18人を超えている時間もある。キャパシティとして目標数値150人は可能なのか。

(事務局) のる一とが運行する上で、非効率的な回り道をしないようシステム上の工夫や見直しを図ることで、さらに利用者数を増加する余地があると考えている。そのため、月1回の運行事業者(タクシー会社)、運行支援事業者、町との3者定例会において、意見を出し合い、導入できる改善策を随時取り入れ、目標数値を目指している。

(鶴 川) のる一との車内灯について。今のように冬の時期、17時以降は車内が暗くなる。バスは、車内灯が点いている。タクシーとして考えると車内灯は点けづらいのかもしれないが、防犯上点灯して運行できないのだろうか。

(会 長) そのあたりは、運行事業者のご意見はいかがか。

(中 尾) 車内灯の反射により、安全な運行が難しくなるのではということが懸念される。特に左折時の車幅の感覚が通常と異なるのではないか。ただ、様々な利用者がおられ、暗い車内に不安を覚える方もいらっしゃるかもしれない。社内でも意見を聞いてみる必要がある。

(会 長) 運行に支障のない程度で、利用者の足元だけ照らすようなものがあればよいのかもしれない。

次に、2件目の案件に移らせていただく。事務局から説明を求める。

②西鉄バス「宇美～太宰府線」路線継続に関する経過報告

(事務局) 説明

(会 長) 西鉄バス「宇美～太宰府線」路線継続に関する経過報告として、これまでの経過や、委員からのご意見をもとに太宰府市、西鉄、当町との3者で運行負担金算定に関する協議を行っていることについて説明があった。

これについて、ご意見、ご質問がある方はどうぞ。

(黒 川) 2番目の項目、運行負担金算定に関する協議とは、今後、負担金が上昇することについての協議なのか。内容をもう少し詳細に。

(事務局) 令和4年7月15日の地域公共交通会議において、委員から「太宰府市のコミュニティバスと西鉄バス路線が重複するルートにおいて、コミュニティバス運賃との調整を行っている区間があり、距離按分で運行負担金を算定することは、宇美町にとって不利ではないか。」という意見があった。これについて、当町の負担を下げるための協議を行っているというもの。

(黒 川) 10月1日に当該路線は減便されたが、何か影響はあったか。

(事務局) 詳細な数値を手元に用意していないが、利用者数は減少している。10月1日、減便と合わせて宇美駅への乗り入れが開始したので、JR香椎線からの接続等利用者増に向けてさらに周知を行う必要がある。

(大 井) 運行負担金の算定については、過度に宇美町の負担が大きくなならないよう今後も太宰府市、西鉄との調整を行っていただきたい。

来年、秋には、西鉄本社が子会社を吸収する話も出ている。そうなると運行にかかるコストは上昇することが予想される。そのことについての協議も必要かと思われる。

(会 長) 西鉄から何か補足はあるか。

(池 田) 大井委員のご指摘のとおり、来年10月1日、当該路線を運行している西鉄バス二日市を西日本鉄道が吸収する予定。乗務員を安定的に確保していく上でやむを得ない措置。運行コストは、どうしても上昇してしまうが路線継続のため、何卒ご理解いただきたい。

(会 長) 今後も情報等があれば会議を通じて、提供していただきたい。

ほかに意見・質問等はないか。

(意見・質問なし)

(会 長) それでは、これで地域公共交通会議を終了し、引き続き地域公共交通活性化協議会に移らせていただく。